

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
I. 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充・強化について			
1	要望	<p>1. 新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰の影響への経済対策について 新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しない中、追い打ちをかけての原油価格と物価の高騰は、私たちの日常生活を直撃し、市民生活及び企業活動において多大なる影響を及ぼしております。 そのような中、令和4年度においては、生活支援対策並びに事業者支援対策として全市民へ1人あたり3,000円のクーポン券発行事業を実施していただき、心から感謝申し上げます。 しかしながら、今後もウクライナ情勢を受けた物価高騰が一段と進行し、家計負担や企業活動コストが増加していく懸念があります。 つきましては、<u>新年度においても、従来どおりのクーポン券支給またはプレミアム付き商品券を発行するなど生活支援そして事業者支援につながる経済対策を継続して講じていただけてますようお願いいたします。</u> 加えて、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、一層厳しさを増しておりますので、<u>原油価格・物価高騰対策として直接支援となる支援金給付など事業継続のための支援強化を</u>あわせてお願いいたします。</p>	商工課
	回答	<p>原材料・エネルギー価格高騰により厳しい経営環境に置かれている中小企業・小規模事業者に対する支援として、国では、燃料価格や電気・ガス価格激変緩和対策事業を実施し、エネルギー価格の抑制に取り組んでいるほか、日本政策金融公庫によるセーフティーネット貸付金利の引き下げ、事業再構築補助金における「原油高騰・物価高騰等総合緊急対策枠」の創設などを実施しております。 一方で原油価格の高騰が落ち着きを見せているほか、徐々に円安から円高にシフトするなど、今後物価上昇が一段落するとの見方も出ております。このことから、市としては、今後の経済状況を注視するとともに、国や県の動向を見ながら、支援策を検討してまいります。</p>	
2	要望	<p>2. 地元飲食店等への積極的な利用促進について 新型コロナウイルス感染症は今なお収束せず、特に飲食店においては売上回復には至らず、あわせて諸物価の高騰の影響を受け、利益確保が大変難しい状況にあります。 そのため白河商工会議所においては、ウイズコロナとしての生活様式を踏まえつつ、積極的かつ率先して地元飲食店等への利用促進を図るよう会員等に働きかけているところであります。 <u>市当局におきましても、今まで以上に職員の皆様が率先して地元飲食店等を積極的に利用していただけますようお願いいたします。</u></p>	総務課
	回答	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による経済の低迷は大きな社会問題となっており、これまで全国的に感染防止対策と経済活動の回復との両立が推し進められています。市といたしましても職員一人ひとりの適切な感染防止を徹底しながら、地域経済活性化の一助として、様々な機会を捉え市職員に対し市内飲食店等での消費を促してまいります。</p>	
3	要望	<p>3. 「敬老祝い商品券」発行事業の継続について 白河市内商工会議所・商工会連絡協議会では、市の依頼に基づき合併後平成18年度から17年間に亘り、「敬老祝い商品券」事業を実施しております。 また、本年度からは加盟店からの手数料不要となる事業設計としていただいたことで、加盟店が増加する効果もあり、感謝申し上げます。 さて、限られた財源の中で高齢者サービスを継続させていくため、今後敬老会での商品券支給を見直す議論がされていると聞き及んでおります。 しかしながら、本事業は高齢者への感謝の気持ちを表す意味で地元に着目しており、さらには地域内資金循環型の施策であることから地域経済活性化に大変貢献度が高いものと認識しております。 つきましては、<u>今後も「敬老祝い商品券」の発行事業を継続していただきますよう強く要望いたします。</u></p>	高齢福祉課
	回答	<p>毎年、「敬老祝い商品券」事業へのご協力を賜り誠にありがとうございます。 現在は75歳以上の高齢者全員に2千円分、88歳の米寿対象者には3千円の商品券を追加して配付しておりますが、今後は喜寿、米寿等の節目の歳にお祝いを迎える方に限定して祝金を給付する等の検討をはじめております。 人生100年時代を迎える中で、支援を必要とする方に福祉サービスが行き届くよう、限られた財源の中で将来を見据えた持続可能な福祉施策に向けて転換を図る時期がきています。 他の事業と同様に、「敬老祝い商品券事業」についても見直しの対象としておりますが、現時点では詳細は確定していません。 なお、令和5年度については、従来通りの予算要求をしていることを申し添えます。</p>	

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
II. まちづくり・地域振興の推進について			
1	要望	<p>1. 廃校施設の有効活用について 少子化問題は、児童数の減少に伴い学校の統廃合を加速させております。当市では、令和4年4月に大信地区の3つの小学校が統合し、今後も五箇中学校が白河中央中学校との統合が控えていると聞き及んでおります。 また、未利用となった校舎等につきましても市当局では、既に活用提案を公募しており、地域の振興発展に資する利活用を期待しているものであります。 さて、白河商工会議所会員からは、東京オリンピックの新種目となったスポーツクライミングやスケートボードを愛好する若者が数多く存在しているにもかかわらず、その練習場所や競技施設が全く無く、練習を禁止している公園や駐車場等で行っているのが実態であるとの声が寄せられています。 つきましては、<u>廃校施設の活用策の一つにニュースポーツを含めたスポーツ振興の場所とすることや滞在型アウトドア施設（クラインガルテン、キャンプ場など）とするなど、多目的施設としての有効活用についてご検討いただきますようお願いいたします。</u></p>	生涯学習スポーツ課
回答	<p>地域の実情やニーズを踏まえながら、アーバンスポーツとしての利用を含め、スポーツ施設としての有効活用について調査・研究してまいります。</p>		

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
Ⅲ. 単会要望について			
■白河商工会議所			
1	要望	<p>1. 道の駅の整備に向けた検討委員会等の早期設置について 道の駅は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供、地域の賑わい創出や防災機能を備えた安全の確保などを目的とした施設であり、「地域とともに作る個性豊かな賑わいの場」として地域経済の活性化や観光面において大いに期待されるものであります。</p> <p>人々の価値観の多様化により、個性的で面白い空間が望まれており、休憩施設では地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を活用し多様で個性豊かなサービスの提供や農商工連携を促進させることが可能となります。</p> <p>つきましては、多くの市民や来訪者が集い、情報発信機能を備えた道の駅は、地域産業・地域社会の発展には欠かせない重要な施設であると考えておりますので、<u>白河市における道の駅の整備に向けた検討委員会の設置や基本構想の策定などに着手していただきますよう切に要望します。</u></p>	企画政策課
	回答	<p>道の駅は道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方のための「情報発信機能」、そして活力ある地域づくりを行うための「地域連携機能」を併せ持つ複合施設となっていることから、道の駅のあり方や関連機関との連携・調整方法等について、調査研究を進めて参ります。</p>	
2	要望	<p>2. 市道双石線の早期改良整備と勾配がある市道交差点の舗装改良整備の促進について 白河市の2019年経済センサスによる製品出荷額（約3,376億円）は、いわき市、郡山市、福島市に次いで県内第4位を誇ります。当市の製品出荷額の内訳で見ると、ゴム製品製造業が約4割を占めていることから、当該業種は当市の主力産業であります。</p> <p>さて、主力産業の企業が立地している市道双石線は、基幹的道路である国道289号線に接続するまでの区間において狭隘かつ幅員狭小であることから、大型車両の物流輸送に支障があるとの声が寄せられております。</p> <p>つきましては、<u>安全で円滑な物流を実現するため、市道双石線と国道289号線を直線で接続する早期改良が図られますよう、強く要望します。</u></p> <p>また、交通量が多い白河駅八竜神線の横町交差点は、勾配があるため冬季での道路凍結の際には、大型車両が立ち往生する姿が見受けられます。</p> <p>つきましては、<u>勾配がある交差点においては、凍結時の滑り防止策として舗装改良整備を図っていただき、また県道については県に働きかけていただきますよう併せて要望いたします。</u></p>	道路河川課
	回答	<p>今回要望を頂きました市道関辺本沼線川前工区につきましては、過年度に国道289号と関辺本沼線の交差点部について概略設計を行い、付け替え道路の線形比較や経済比較を行ってまいります。</p> <p>今後は国道と市道の交差点接続について国道289号の管理者である福島県と協議を進め、土地の権利者調査等を進めながら、事業化の時期について検討してまいります。</p> <p>つぎに、市道白河駅八竜神線と国道294号の交差点部である横町交差点につきましては、八竜神側から白河駅方面へ向かう際に信号機手前が上り坂となっているため、路面凍結時、大型車両がスリップしてしまう状況が発生しています。</p> <p>今後、国道294号の管理者である福島県と協議を行い、路面凍結時の滑り防止対策について検討してまいります。</p>	

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
3	要望	<p>3. 観光誘客のための循環バスの試行運転について</p> <p>国道294号白河バイパス道路は、本年2月4日にいよいよ全線開通されます。このバイパス道路の完成により、市内の慢性的な交通渋滞の解消や広域的で安定した物流の効率化が図られるなど様々な効果をもたらすものと期待される県南地域の重要な道路であります。道路完成までの間、多大なご尽力に感謝申し上げます。</p> <p>本バイパス道路開通により、当市の観光資源である小峰城から南湖公園までを直線で結ばれ、さらにその先には昨年話題となり今でも遠方から参拝者が訪れている白河の関跡までも結ぶことができる観光道路として観光誘客促進が期待できる場所と見られます。</p> <p>一方、当市の観光資源を巡るには、自家用車以外の観光客にとっては大変不便な状況にありますので、公共交通機関利用による観光客向けの受け入れ対応が必要であると思われま</p> <p>す。</p> <p>つきましては、<u>白河駅を発着とする当市の観光資源（小峰城、南湖公園、白河の関跡）を巡る歴史をつなぐ観光ルートとしての循環バスを試行的に運行（土日祝日限定またはシーズン限定）</u>していただき、利用状況を検証していただけますようお願いいたします。</p>	企画政策課
	回答	<p>日曜・祝日運行については、平成29年度及び平成30年度に市循環バス「こみねっと」で試験的に実施しましたが、観光目的の利用は少なかったことから本格導入には至らなかった経過があります。</p> <p>しかしながら、市循環バス「こみねっと」については、白河バイパスの開通により、今年4月から現行の2ルートに加え、このバイパスを経由する新たなルートでの運行（平日及び土曜）を予定しており、小峰城や南湖公園への利便性向上にもつながるものと思っております。また、白河の関までは、福島交通が「新白河・白河の関線」を土日祝日も運行しており観光客への対応を行っているところです。</p> <p>そのため、観光ルートへの試験的運行については、今後のバス利用の推移などを見ながら検討してまいります。</p>	

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
■大信商工会			
1	要望	<p>1. 商工会館の老朽化に伴う事務所移設について 当会の商工会館は、昭和55年2月に完工してから40年以上が経過しており、老朽化が著しい状況です。トイレが和式のみで男女別に分かれていないことや駐車場が狭いことにより通常の会合の開催もままならないなど、不便なことが多く、沿道の大型車両が通過するたびに大きな振動に見舞われるなど、耐震構造ではないため安全性を担保できず、長期的な使用が困難であり、業務に支障を来しております。 そのため、駐車場も広い<u>白河市大信地域市民交流センター「ひじりん館」へ事務所移設を要望いたします。</u></p>	大信庁舎事業課
	回答	<p>ひじりん館は、利用者に対し、地元特産品等の販売や飲食物の提供、集会室・和室の貸出を行う施設であり、貴会から要望ありました事務所としての利用は目的が異なるため、お応えすることは困難であると考えます。 商工会館の老朽化につきましては、貴会の施設計画の中でご対応いただきますようお願いいたします。</p>	
2	要望	<p>2. 地域おこし協力隊の派遣依頼について 大信地域は、過疎地域に指定されたことを受け、地域おこしのためのマンパワーが必要であります。 つきましては、地域おこし支援のため、<u>地域おこし協力隊の派遣を切に要望いたします。</u></p>	企画政策課
	回答	<p>地域おこし協力隊の受入れは、地域の活力を維持・向上させていくために有効なことから、積極的に制度を活用していきたいと考えておりますが、地域活性化というテーマでは、活動内容が漠然としており、活動終了後の定住に結びつけることが難しかったことから、現在は、具体的なテーマを設定した募集を行っているところです。 地域おこし協力隊に期待する具体的なテーマや受入れ体制について、担当課迄ご相談願います。</p>	
3	要望	<p>3. 大信地区内各施設等の有効活用について 地区内の田ノ沢ダム跡地や統合後の旧信夫二小学校、旧大屋小学校の校舍跡地といった場所について、<u>大信地区の今後の発展のために有効活用できる計画立案を要望いたします。</u> また、大信地区が過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の対象地区として指定されたことを受け、同措置法の則って<u>クラインガルテンの開発など具体的な発展計画の検討について要望いたします。</u></p>	大信庁舎事業課 企画政策課
	回答	<p>市では、令和4年4月に表郷地域と大信地域が過疎地域に指定されたことを受け「白河市過疎地域持続的発展計画」を策定し、さらに各地域ごとに活性化の方向性を明らかにした「地域振興計画」をまとめあげたところです。 この地域振興計画には、要望事項に記載のありました各土地等の有効活用策の検討も盛り込んでおり、今後、当該土地等が賑わい創出の場所となるよう継続的に協議してまいりたいと考えております。</p>	
4	要望	<p>4. 大信地域の特産品の発掘・開発について 大信地区には、これまでも特色ある産業があるものの、さらなる強みとなる取り組みが必要であると考えてます。 そこで、<u>6次化産業や地方創生、農商工連携といった様々な面から大信の特産品を生み出す事業者の発掘や新商品開発、支援策の策定を要望いたします。</u></p>	農政課
	回答	<p>市では、平成27年度から実施している「白河市アグリビジネス連携事業補助金」により、市内産農畜産物を使った新たな商品の開発をはじめ、イベント出展、パッケージ開発等の販路拡大への取組みを支援してまいりました。また、市内産農畜産物やその加工品のPRを通じて地域の活性化を図るため、令和3年度から地域ブランド「農産物ブランド白河しろもの」に取り組んでおります。 これらの事業は大信地域の事業者にご利用いただいた実績もあり、引き続き推進してまいります。</p>	

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
■表郷商工会			
1	要望	<p>1. 表郷地域おこし協力隊の設置について 地区内人口減少による地域社会の活力の低下が懸念される中で、令和4年4月1日に表郷地域が過疎地域に指定されました。当会においては、通常の経営支援の他に、事業承継や創業支援についても関係機関と連携して、商工業を通じた地域経済やコミュニティ維持に努めているものの厳しい状況が続くと想定されます。 そんな中で白河市では、伝統芸能継承や移住定住推進のため地域おこし協力隊制度を導入されていますが、表郷地区では令和3年6月に協力隊が任期満了となり、不在になっております。 前任の協力隊とは、令和2年にコロナ禍に苦しむ飲食店業・食品関係業者に対して冊子作成や情報発信など連携支援を行い、事業者や地域住民から高い評価を得ました。また任期満了後には表郷へ定住と創業をされたことで地域活性化や商工業の維持発展に資する活動を推進され、地域に不可欠な存在となっております。 よって、この流れを継続して地域活性化を推進するため、<u>表郷地域おこし協力隊の設置を要望いたします。</u></p>	企画政策課
	回答	<p>地域おこし協力隊の受入れは、地域の活力を維持・向上させていくために有効なことから、積極的に制度を活用していきたいと考えておりますが、地域活性化というテーマでは、活動内容が漠然としており、活動終了後の定住に結びつけることが難しかったことから、現在は、具体的なテーマを設定した募集を行っているところです。 地域おこし協力隊に期待する具体的なテーマや受入れ体制について、担当課迄ご相談願います。</p>	

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
■ひがし商工会			
1	<p>要望</p> <p>回答</p>	<p>1. ひがし街路灯維持会への補助金の交付について</p> <p>ひがし街路灯維持会は、約20年前に商工会が主体となり設立し、会員の会費収入と市の補助金収入を電気代及び修繕費、管理費に充てておりました。また、平成25年にLED化工事を進める際に白河信用金庫より借入をし、その返済期間分の補助金については市より上乗せしていただき運営を継続していたという経緯があります。</p> <p>しかし、令和3年度にすべての借入返済が終了した際、上乗せ分の補助だけでなくもともと補助していただいている分を含めた全額が交付されず、今年度についても引き続き補助がないまま運営を続けているところです。昨今電気代は徐々に高騰し財務状況も逼迫している現状、来年度については街路灯を消灯する見込みとなっております。</p> <p><u>つきましては、東地区の街路灯は防犯灯としてなくてはならないものであり、地域住民の安全のためにも補助金の交付を強く要望いたします。</u></p> <p>商店街等に設置されている街路灯は、商店街の活性化はもちろん、防犯灯としての役割を担っており、地域の安全確保の面からも重要であると認識しております。一方で、商店の減少や昨今の電気料高騰により、ひがし商工会だけではなく市内全域の街路灯の維持管理の負担が増加しております。</p> <p>こうした状況を踏まえ、令和4年度補正予算において、街路灯の維持管理費用のうち物価高騰分について補助事業を実施しております。</p> <p>貴会で設置している街路灯のうち、平成25年度に国の「商業まちづくり補助金」を活用してLED化した街路灯を除いた50基は、防犯灯の役割が強いと認められることから、新たな支援策を検討して参ります。また、今後設置予定している街路灯についての協議を進めたいと考えております。</p>	<p>東庁舎 事業課</p>